

諸達伺公報

○司法署丁第貳拾五號 大審院 裁判所 陸軍憲兵司令官... 明治十六年九月廿六日 司法卿大木喬任

時事新報

聯合商工業會

東京府知事へ去月廿二日府下ノ重立タル商工業組合并會社總代ヲ本提町舊明治會堂ニ招集シ聯合商工業會ノ府下ニ必要ナルヲ以テ其設立ヲ籌議スル旨ヲ演述シ且其組織及ビ撰擧法等ニ關スル書類ヲ頒テ諮問スル所アリ其要旨ハ本年太政官第十三號布達ニ基キ商工業會ヲ設立シテ其業務ニ關スル利害得失ヲ諮問シ又ハ其會ノ意見ヲ聞キ以テ衆望ノアル所ヲ知ラント欲スルニ在リ又其會員ヲ撰擧スルニ府下各區ヨリ直ニ代議人ヲ撰ブノ困難ニシテ且實地ニ適セザルヲ察シ先ツ府下各商工業組合并會社ヨリ總代人ヲ出サシメ之ヲ以テ會員ニ充ツルノ制トナサントシ其費用ノ如キモ地方稅又ハ協議費ニ依ラズシテ各組合人員ノ多寡ニ由リ各自ノ負擔トナサントスルニ在リ是ニ於テ會員ハ其設立ヲ贊成シ又副立委員ノ撰定ヲ府知事ニ乞ヒ七名ノ委員モ定リテレバ委員ハ二週間ヲ期シテ規則草案ヲ制定シ更ニ協議スル所アラントスト(詳細ノ事ハ本月廿四日廿五日及廿六日ノ紙上ニ分載シ第十三號布達ハ本年五月十七日ノ官令欄内ニ在リ)

ノ方法ニ於テモ其手續簡便等、事ノ便利ハ稅上ヲ目的トシテ納稅上ノ便利ハ第二ニ位スルモノ、如シ是等ハ政府自家ニ厚クシテ人民ニ薄クシレバ便ニシテ他ヲ不便ニスルノ故意ノルニ非サルヤ明カナリ如何トナレバ他ニ不便アルモ其不便ナルモノガ直ニ政府ノ便利タルニ非ス間接ニハ政府モ共ニ其不利ヲ蒙ル可ケレバナリ畢竟民間實際ノ情ニ通スルコト尙ホ未ダ極密ナラザルガ爲ニ意思外ノ結果ヲ生スルモノナレバ商工業會ノ設置ヨリ右等實際上ノ利害得失臨シ通達スル時ハ隨テ不幸不便ノ結果ヲ免ル、ハ自然ノ理ナリトス

第一 商工業會ハ實業上ノ相談會ナルヲ以テ府縣會ノ如ク規則嚴格ナラズ又冷情ナラザルヲ要ス 第二 商工業會ハ百般ノ業務ヲ付體体ノ便益ヲ謀ルヲ以テ會員中一人又ハ一黨類ノ權勢ニ歸セザルヲ要ス

第一 所謂府縣會ノ如ク規則嚴格ナラズ又冷情ナラザルヲ要スルトハ會員打ラシクシテ相談シ些々タル詞答メナドハ最モ無用ニシテ如何ナル辨明モ能ク其真意慮ヲ官廳ハサシムル難ニシテ府縣會ナレバトテ其規則嚴シ過ぎ心冷却シテ十分蘊慮ヲ叩キ興味ノ相續出來ズト謂フコトハ非ザレバ一般ニ其景況ヲ見レハ兎角規則嚴格ニシテ議論主角ヲ露ハシ甚シキハ各自首辭ノ上ニ議論ノ枝ヲ發生シ百口各辯ズリ眞實紛々止ル所ヲ知ラズ而シテ之ヲ規則ニ照シ第一第二及第三次會ヲ經テ決チ多數ニ問ヒ起立シテ其數ヲ算シ來レバ甲ノ議論ニモアラス乙ノ發言ニモアラス一種奇怪ノ多數決トナリ双方トモ失望スルガ如キハ隨分其例ニ乏シカラス此等ハ議員ガ議事ニ慣熟セザルニ由ルト雖モ其規則嚴格ニシテ安リニ變通ナラスコト能ハズ又各自ノ心算親密濃厚ナラズシテ瑣碎ノ議論ヲ生シ互ニ相和セズ相讓ラズシテ遂ニ冷カナル規則ノ裁制ヲ受ケザル可カラザル有様ニ陥レバナリ故ニ今回ノ商工業會ニ於テハ議事ノ整理ハ要用ナレハ必ラズ三次會ニ限ルニ及バズ議決不都合ナレバ四次會モ開ク可シ五次會モ亦開クベシ眞實底意ヲ盡シテ實際適切ノ事ト衆人希望ノ點トシテ認定スルヲ以テ必要ナリトス又何ア嚴格ナル規則ヲ以テ之ヲ制限スルヲ須シヤ是レ創立委員諸氏ノ規則編成ニ就テ注意アラントシテ望ム所ナリ

第二 會員中一人又ハ一黨類ノ權勢ニ歸セザルヲ要スルコトハ會員公平ノ意思ヲ以テ之ヲ制限スルヲ要スルヲ要スルコトハ會員公平ノ意思ヲ以テ之ヲ制限スルヲ要スルコトハ會員公平ノ意思ヲ以テ之ヲ制限スルヲ要スル

第一 所謂府縣會ノ如ク規則嚴格ナラズ又冷情ナラザルヲ要スルトハ會員打ラシクシテ相談シ些々タル詞答メナドハ最モ無用ニシテ如何ナル辨明モ能ク其真意慮ヲ官廳ハサシムル難ニシテ府縣會ナレバトテ其規則嚴シ過ぎ心冷却シテ十分蘊慮ヲ叩キ興味ノ相續出來ズト謂フコトハ非ザレバ一般ニ其景況ヲ見レハ兎角規則嚴格ニシテ議論主角ヲ露ハシ甚シキハ各自首辭ノ上ニ議論ノ枝ヲ發生シ百口各辯ズリ眞實紛々止ル所ヲ知ラズ而シテ之ヲ規則ニ照シ第一第二及第三次會ヲ經テ決チ多數ニ問ヒ起立シテ其數ヲ算シ來レバ甲ノ議論ニモアラス乙ノ發言ニモアラス一種奇怪ノ多數決トナリ双方トモ失望スルガ如キハ隨分其例ニ乏シカラス此等ハ議員ガ議事ニ慣熟セザルニ由ルト雖モ其規則嚴格ニシテ安リニ變通ナラスコト能ハズ又各自ノ心算親密濃厚ナラズシテ瑣碎ノ議論ヲ生シ互ニ相和セズ相讓ラズシテ遂ニ冷カナル規則ノ裁制ヲ受ケザル可カラザル有様ニ陥レバナリ故ニ今回ノ商工業會ニ於テハ議事ノ整理ハ要用ナレハ必ラズ三次會ニ限ルニ及バズ議決不都合ナレバ四次會モ開ク可シ五次會モ亦開クベシ眞實底意ヲ盡シテ實際適切ノ事ト衆人希望ノ點トシテ認定スルヲ以テ必要ナリトス又何ア嚴格ナル規則ヲ以テ之ヲ制限スルヲ須シヤ是レ創立委員諸氏ノ規則編成ニ就テ注意アラントシテ望ム所ナリ

第二 會員中一人又ハ一黨類ノ權勢ニ歸セザルヲ要スルコトハ會員公平ノ意思ヲ以テ之ヲ制限スルヲ要スルコトハ會員公平ノ意思ヲ以テ之ヲ制限スルヲ要スル

第一 所謂府縣會ノ如ク規則嚴格ナラズ又冷情ナラザルヲ要スルトハ會員打ラシクシテ相談シ些々タル詞答メナドハ最モ無用ニシテ如何ナル辨明モ能ク其真意慮ヲ官廳ハサシムル難ニシテ府縣會ナレバトテ其規則嚴シ過ぎ心冷却シテ十分蘊慮ヲ叩キ興味ノ相續出來ズト謂フコトハ非ザレバ一般ニ其景況ヲ見レハ兎角規則嚴格ニシテ議論主角ヲ露ハシ甚シキハ各自首辭ノ上ニ議論ノ枝ヲ發生シ百口各辯ズリ眞實紛々止ル所ヲ知ラズ而シテ之ヲ規則ニ照シ第一第二及第三次會ヲ經テ決チ多數ニ問ヒ起立シテ其數ヲ算シ來レバ甲ノ議論ニモアラス乙ノ發言ニモアラス一種奇怪ノ多數決トナリ双方トモ失望スルガ如キハ隨分其例ニ乏シカラス此等ハ議員ガ議事ニ慣熟セザルニ由ルト雖モ其規則嚴格ニシテ安リニ變通ナラスコト能ハズ又各自ノ心算親密濃厚ナラズシテ瑣碎ノ議論ヲ生シ互ニ相和セズ相讓ラズシテ遂ニ冷カナル規則ノ裁制ヲ受ケザル可カラザル有様ニ陥レバナリ故ニ今回ノ商工業會ニ於テハ議事ノ整理ハ要用ナレハ必ラズ三次會ニ限ルニ及バズ議決不都合ナレバ四次會モ開ク可シ五次會モ亦開クベシ眞實底意ヲ盡シテ實際適切ノ事ト衆人希望ノ點トシテ認定スルヲ以テ必要ナリトス又何ア嚴格ナル規則ヲ以テ之ヲ制限スルヲ須シヤ是レ創立委員諸氏ノ規則編成ニ就テ注意アラントシテ望ム所ナリ

互シカラザルモノナキニ非ズ、其議事ノ所無益ノ空談ニ非ラレバ或ハ一二有力者ノ左右スル所トナリ甚シキハ世人ヲシテ某會議所ハ某地ノ會議所ニアラズシテ某氏ノ會議所ナリト評セシムルニ至ル此ノ如キ場合ニ於テハ如何ナル議案ヲ提出スルモ唯々諸々滿場一致ニモ新案ヲ呈シ修正動議ヲ發スル者モナク會頭或ハ役員ノ言フガマコマ決議スルノ有様ナキコトアラズ斯クテハ折角多數ノ人ヲ集メテ衆議ヲ採ルモ商工業會ノ考察ヲ富山スニハ非ズシテ一二有力者ノ私見ニ衆議ノ名ヲ粧飾シ偶以テ其勢力ヲ濫ルモノニ過ギザルノミ故コト本會ノ會頭及ビ役員ノ如キハ常ニ之ニ注意シテ會員中同類相引援スルノ弊ヲ防キ其風儀ヲ政治會ノ如ク爲ラシメザルコト本會ニ向ツテ望ム所ナリ

思フコト今回撰擧セラレタル創立委員及ビ會員トナルベキ人々モ以上ノ弊害ニ見ル所アリテ府縣會又ハ商法會議所ノ如キ覆轍ヲ履ムコトアラザル可シト雖モ又他ニ弊習ヲ生スルノ患ハアラザルカ我輩ハ他ノ弊習ノ種類ハ之ヲ豫言スルノ明ナシト雖モ只會員タル者ハ此會ヲシテ官ノ爲メニ設ケズシテ民ノ爲メニ設ケ其議事ノ所モ民ノ便ヲ謀リテ間接ニハ自カラ官ノ便利ニモ爲ル可キモノナリトノ事ヲ記述セバ府民ノ幸福益之ヨリ大ナルハ莫カル可キナリ

○勳章授與 過日來府下滞在のワヨナルベルト殿下は昨日午前十時隨行員二名と共に長崎宮内權大書記官の案内にて五名の警官之と護衛し三田小山町の旅館を發し永田町獨逸公使館より寄り同公使館ドホッフ氏同伴にて赤坂假居居へ參内せられれば 聖上おは式部官の御先導にて便殿へ出御皇族大臣參議を始め柳原實勳局長等何れも大禮服にて陪席の上 聖上おは殿下并公使へハ一等勳章旭日大綬章を親授せられ隨行員ハロン、フオン、フアンケンゾールストルフへは二等勳章アラニス、フオン、フアンケンゾールストルフへは四等勳章と賜り殿下以下之を拜受服用して一同退廷せられしは同十一時於て歸路におも公使館より立寄り歸館せられたり

○御手元金下賜 聖上おは義に國難に殉死せし舊高知藩士武市半平太等八十名のたりの高知縣下の有徳堂永く祭祀を繼續する方法を乞ひ併せて記念碑建設の事ある趣を聞食され一昨廿五日金三百圓を下賜りたり

○宮内省支應地所 豫く本紙上へ屢々記載せし今度京都府へ設置したる宮内省支應の地所は蓋當り今出川御門内なる桂宮御殿を以て之を充つる事と成りたるよし

○府邸情況 去る廿二日巡警を了りて歸京したる總務局長官には昨日假居居へ參内直ちに御前へ召され

○西野農商務卿 在らせられし後 月三日東京出發にて開會中なる第二

○出資 山尾參事 煙草砂糖及各種世 同府下にて同月

○西野農商務卿 在らせられし後 月三日東京出發にて開會中なる第二

○出資 山尾參事 煙草砂糖及各種世 同府下にて同月

○西野農商務卿 在らせられし後 月三日東京出發にて開會中なる第二

○出資 山尾參事 煙草砂糖及各種世 同府下にて同月

○西野農商務卿 在らせられし後 月三日東京出發にて開會中なる第二

○出資 山尾參事 煙草砂糖及各種世 同府下にて同月

○西野農商務卿 在らせられし後 月三日東京出發にて開會中なる第二

○出資 山尾參事 煙草砂糖及各種世 同府下にて同月

○西野農商務卿 在らせられし後 月三日東京出發にて開會中なる第二